

オルタナだより

仙台市青葉区八幡 放課後等デイサービス オルタナプレイス八幡



夏休みの学びクラブでは、「水」と「夏」のテーマ学習で2つの実験をしました。

左の2枚は水を使った実験で、針金で作ったアメンボを水に浮かべたり、コップに一杯に入れた水にビー玉を入れたりして、表面張力を実感しました。

「夏」の実験では、電気を通すもので触ると止まる扇風機を使って、電気を通すものと通さないものを確かめました。

夏の思い出がたくさんできました。

2年目に入り、大勢の子ども達と過ごした夏休みは、放課後では難しい外出イベントも多く取り入れました。おかげさまで事故もなく夏休みを終えることができ、ほっとしています。

普段はできない多くの体験を通じて、子ども達だけでなくスタッフ一同も成長できたように感じます。夏休み中の活動の様子は、毎日ホームページ上のブログで紹介しましたので、ぜひ子ども達の生き生きとした活動の様子をご覧ください。

オルタナのこだわりコラム その5



利用者さんの作文を紹介します。

今回は、ある利用者さん（スタッフ；私の子供でもあります）が中1の夏休みに書いた作文を紹介します。「自分の子どもが、他のお子さんと違う」ことで悩んでいる保護者の皆さんに、読んで頂きたいと思います。

「型にはまらないもの」

私には気になることがある。それは、多くの作文で、障害は悪いことではないと「気づいて」いることだ。私はそれを見ていてどうしても「最初は悪いことだと思っていたんだな」と考えてしまう。何かしらのきっかけで、他の人、または自らの障害が悪いことではないと気づく、そんなことが多いような気がする。

なぜはじめは悪いことだと思っているところから始まるのだろうか。私は発達障害を2つ持っているが、それが悪い事だと思ったことは一度も無いし、小学生になる前から自分の障害については知っていた。

きっと、これは日本の「普通」をよしとする所に原因があると思う。型にはまった優等生をたくさん育てて、全員を型にはめようとするあまり、その型にはまれない、はまらない人達が生きづらくなっている、そのせいで悪いことだと勘違いするのではないだろうか。（中略）

私は障害のことは、隠すことでも何でも無いと思っているが、「私」の場合は言う必要も無いと思っている。だが、今までに何人かの友達に自分の障害を話してみたことがある。その反応は全て、「気にしてなかった」や「そうなんだ」と実にさっぱりした物だった。言おうが言うまいがどっちにせよ対応は変わらなかったというわけだ。

言ったとか言わないとか、そんなことよりもっと大事なことがある。それは、環境を選ぶことだ。小学生の頃に、宿題でパニックを起こした事がある。そして、3年生の頃から私の宿題は、やってもやらなくても良いことになった。現にこの作文だって、字を書くことが苦手な私はパソコンで書いている。

もしあのとき宿題をやることを強制されていたら、私はきっと不登校になっていた。この作文を紙に書いていたら、ひらがなだらけの作文を途中で放り出していたことだろう。分かってもらえないかもしれないが、最も大事なことは、「周りを知り、周りに合わせられるように努力する」事ではなく「自分を知り、楽になるように工夫する、またはもとかから合う所を探す」事だと私は思う。（中略）

きっとたくさんの方が思っているよりも多く「型にはまらない人」はいる。普通じゃないなんて珍しいことじゃないし、悪いことでもない。当然のことだ。いて当然なのに不自由なのは数が少なく、多数決で色々なことが決まるからだ。ならどうしたらいいか。単純だ。型にはまらなくてもいい社会を作ればいいのだ。（中略）

私は障害をあって当然の個性だと思っている。ただの珍しい個性だと思えば、悪いことの気はしないのではないだろうか。

学ぶ事とかそれ以前に、まずは自分に自信を持つことが大切だ。根拠がなくても、きっとそれだけで、色々なものが明るく見えてくる。

子供が中学生になってから、親としては学校という守られた場所を離れた後の社会人としての将来を強く意識するようになりました。客観的に見れば、子供の今の考え方や言動のすべてがそのまま社会で受け入れられるはずはなく、自分の特性と真摯に向き合い、社会との折り合いの付け方を学んでいくことはこれからの大きな課題です。

それでも、これまで「周りの子ども達と違う」ことを気にせず、そんな自分を肯定的に受け止めていることは、将来の困難を乗り越える力になると信じています。「普通じゃないなんて、珍しいことでも悪いことでもない」。オルタナプレイスに通う子ども達だけでなく、同じ特性を持つ子ども達や保護者の皆さんに伝えたいメッセージです。

活動の様子（2019年夏）

普段の活動はホームページ内のブログでもご覧になれます。



みちのく公園では、去年は行けなかった「カブトムシハウス」に行きました。大好きなカブトムシに大興奮！



8月のお誕生会では、主役の2人が可愛らしく「パプリカ」を踊ってくれました。みんなで Happy Birthday !



県民の森の2Kmのアスレチックに挑戦！ 保育園時代は途中リタイアした利用者さんも、今は楽々クリアです。



夏休みの「1年生パソコン教室」では、マウスの使い方やパソコンの立ち上げ・終了の仕方を練習しました。



オルタナ初のカラオケは、2部屋に分かれて楽しみました。低学年の利用者さんで、「ドレミの歌」の大合唱です。



夏休み最終日は、流しそうめん大会です。いつも食べているのに、どうしてこんなに美味しいんでしょう？



【お知らせ】

新規のご利用について

現在オルタナプレイスでは、曜日によって若干の空きがありますので、ご利用を検討されるかたはお知らせください。ただし、送迎についてはご希望に添えないことがございますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

来年度就学のお子様のご利用契約については、12月頃からの受付を予定しています。事前の見学・相談は歓迎ですので、是非おいでください。

YouTubeチャンネルを作りました。

YouTubeで活動の様子や利用者さんの作品を配信できるように、「オルタナプレイス八幡公式」チャンネルを作りました。まだテスト動画だけですが、少しずつコンテンツを増やしていきたいと思っておりますので、どうぞご期待下さい。

保護者からの質問

Q. 3つの数の計算でつまづき、何もせずに帰ってきました。家で復習し、少しの説明ですぐ理解していましたが、急に進み方が早くなり、学習面を手厚く見ていかないと勉強がつまらなくなってしまいそうです。何かアドバイスがあったら教えてください。

A. 学習面でのつまづきは、多くのお子さんが何度も経験することです。そんなときに気を付けて欲しいのは、苦手意識を持たせないことだと思います。皆に置いていかれないようにと焦り、お家の方が一生懸命働きかけた結果、さらにプレッシャーを感じて逆効果になってしまうこともあります。

1日の学習の中でまずは簡単に解けるような課題に数問取り組んで、出来るという自信をつけさせる。次に少し難しい問題に1問だけチャレンジしてみる。もしそれが解けなくてもできるまで何度も解くのではなく（本人がやりたがる場合は別として）やり方を説明して、間違い直しだけする。そして明日またチャレンジしてみよう！で大丈夫です。

その日の学習は、出来た！という気持ちで終わる事を大切にしたいです。

本人のペースで、やる気を損なわず取り組んで行けるようにお家のかたがサポートすれば、理解出来ることは少しずつでも確実に増えていきます。（学びクラブ担当）



オルタナだよりで取り上げて欲しいテーマや、紹介したいエピソードなどがあれば是非おしらせください。次号作成の参考にさせていただきます。

放課後等デイサービス オルタナプレイス八幡

〒980-0871 仙台市青葉区八幡4-1-6

tel : 022-343-9222

mail : otoiawase@alternaways.com

URL: <https://alternaways.com/>

受付時間 10:00~18:00

サービス提供時間

・平日 14:00~18:00

・休業日 8:30~17:30



オルタナプレイスとは、「もうひとつの居場所」という意味の「オルタナティブプレイス (alternative place)」を略した名前です。